

地域医療連携総合センターだより

No.53

- I. がん薬物療法専門医について
- II. 歯科用CT導入について
- III. 両立支援相談窓口について
- IV. 今後のイベント開催について



発行：2018.6 釧路労災病院地域医療連携総合センター

理念：最新の知識と技術に基づき、良質で信頼される医療を実践します。

がん薬物療法専門医2名体制に

近年、がん治療は目覚ましい進歩を遂げており、一昔前には考えられなかった程に治療成績が向上してきました。特に抗がん剤を始めとする、がん薬物療法の進歩は目覚ましく、患者さんに役立つ最新治療が日々更新され続けています。しかしながら、がん薬物療法はその発展とともに非常に複雑化しており、これまでの「消化器内科」「呼吸器科」といった枠組みにとらわれない、「がん薬物療法のスペシャリスト」が求められるようになってきました。

「がん薬物療法専門医」は日本臨床腫瘍学会が認定する「がん薬物療法のスペシャリスト」の資格です。最新の情報に基づいた薬物療法を行うのはもちろんのこと、それぞれの患者さんの希望やライフスタイルも踏まえて、質の高い医療を実践していくことがその使命です。

当院は、北海道大学病院腫瘍センターや国立がん研究センターで研鑽を積んだがん薬物療法専門医が常駐する、釧路・根室地域唯一の施設です。特色として平日の午前中に行っている通常の内科外来に加え、月・金曜午後には専門医が対応する「腫瘍内科外来」を設け、患者さんとじっくりと話し合う時間を大切にしています。条件に合致すれば、標準的な治療以外に、臨床試験として最先端の治療を選択肢の一つとしてご提案することもできます。また、長時間かけて来院される方々に少しでもゆったりと治療に取り組んでいただくため、広々とした待合室や治療ベッドを完備した化学療法センターを設置しています。

地域の先生方をはじめとして道内外の大学病院や国立がん研究センターといった最先端医療施設にも協力いただきながら、患者さんに「治療してよかった」と思ってもらえるよう、今後もスタッフ一同尽力していく所存です。

「他にいい治療はないのかな?」「高齢だけどなんとか治療がしたい」「話だけでも聞いてみたい」等、気軽な気持ちでご相談いただいても構いません。がん薬物療法を必要とする全ての皆様のお力になることをお約束いたします。

腫瘍内科部長 はらだ かずあき
原田 一顕

化学療法センター(16床)

化学療法センターは木のぬくもりを基調としたデザインとなっており、占有面積800㎡に16ブースを配置しプライバシーに配慮した、ゆったりとしたスペースとなっております。すべてのベッドにテレビがついており無料で観られます。

- ・電動ベッド6床
- ・リクライニングチェア8床
- ・治療個室2室 電動ベッド(トイレ付)



リクライニングチェア

歯科用のCT装置を導入しました

2018年4月、歯科の診断・治療をより高度に、そして安全・確実に行うため、歯科用の新しいCT装置(※1)を導入しました。 ※1 モリタ社 Veraview X800

歯科専用のため、撮影できる範囲は顎や顔面のみですが、解像度が高く、乱れの少ない画像が得られ、しかも被ばく線量が少ないという利点があります。

また、患者さんが座った時に正面が開放されているため、圧迫感のない状態で短時間での撮影が可能となりました。

患者さんのメリット

顎骨や歯のみを対象とするCT撮影については、来院の当日にCT撮影することが可能となりました。

連携登録医のメリット

このCT装置を利用することができます。(利用するためには、事前に申請が必要となります。)
詳細につきましては、地域医療連携総合センターもしくはホームページをご確認ください。

「治療と仕事の両立支援」のご相談をお受けいたします がんの治療をしながら「働き続けたい」方へ

対象者： 当院に関わらず、がん等で治療中の方や、そのご家族、事業場の担当者の方

場 所： 地域医療連携総合センター(1階) 相談専用個室あり

予約制： 対面相談は完全予約制とさせていただきますが、予約は随時承っております。

対応者： 両立支援促進員(医療ソーシャルワーカー)

料 金： 相談無料

連絡先： 0154-22-7191(代表) ※8:15~17:00 土・日・祝日 12/29~1/3を除く

今後のイベント開催予定

高校生のための医療福祉体験セミナー

〈対象：釧路・根室地域の高校生〉

日時：平成30年7月22日(日)13:00~17:00

場所：釧路労災病院 3階 講堂

定員：100名程度

お問い合わせ先：釧路労災病院 経営企画課 (代表)0154-22-7191



2017 内視鏡手術体験の風景